

カトリック高幡教会



創立 5 0 周年記念・保護聖人の記念

記 念 ミ サ

司式：タルチシオ 菊地 功 大司教 様

2021 年 5 月 15 日（土）

10:00・13:30

（ステージ 3）

ミサ式次第

会衆用

開 祭

開祭の歌 独唱 典 163「よろこびに」①②③

(行列と献香)

よ ろ こ び に こ こ ろ を は ず ま せ

か み の い え に ゆ こ う

1.「神の家にしよう」と
2. しげく連なる町
3. イスラエルの おきてに

言われて
エルサレム
従い

わたしの心は 喜びに
すべての民の
神に感謝を ささげる

はずんだ
みやこ
た め に

1. エルサレムよ わたしたちは
2. そこには イスラエルの
3. そこには さばきの

いま
ぶぞく
座

おまえの門のうちに
神の民が
ダビドの家の座が

たっ ている
のぼって く
すえられてい る

入祭のあいさつ

司教 父と子と聖霊のみ名によって。

会衆 アーメン。

司教 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

回心 (第三形式)

司教 皆さん、神聖な祭りを祝う前に、私たちの犯した罪を認めましょう。

司教 打ち砕かれた心をいやすために遣わされた主よ、あわれみたまえ。

先唱 主よ、あわれみたまえ。

司教 罪びとを招くために来られたキリスト、あわれみたまえ。

先唱 キリスト、あわれみたまえ。

司教 父の右の座にあって私たちたちのためにとりなしてくださる主よ、あわれ
みたまえ。

先唱 主よ、あわれみたまえ。

司教 全能の神が私たちをあわれみ、罪をゆるし、永遠のいのちに導いてくださ
いますように。

会衆 アーメン。

栄光の賛歌 独唱 曲208「栄光の賛歌」

司教 天のいと高きところには神に栄光、

独唱 地には善意の人に平和あれ。われら主をほめ、主をたたえ、
主を拝み、主をあがめ、主の大いなる栄光のゆえに感謝したてまつる。
神なる主、天の王、全能の父なる神よ。主なる御ひとり子、
イエス・キリストよ。神なる主、神の小羊、父のみ子よ。
世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。
世の罪を除きたもう主よ、われらの願いを聞き入れたまえ。
父の右に座したもう主よ、われらをあわれみたまえ。
主のみ聖なり、主のみ王なり、主のみいと高し、イエス・キリストよ。
聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。アーメン。

集会祈願

司教 祈りましょう。

父である神よ、あなたは、御子イエス・キリストの復活によって世界に喜び
を与えてくださいました。高幡教会創立50周年記念を祝い、教会の保護聖
人であるさつきの后聖マリアをたたえる私たちが、終わらないいのちの喜
びを受けることができますように。聖霊の交わりの中で、あなたと共に世々
に生き、支配しておられる御子、私たちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

ことばの典礼

第1朗読（レビ記25・1－2a、8－12、18）

レビ記

主はシナイ山でモーセに仰せになった。

イスラエルの人々に告げてこう言いなさい。

あなたは安息の年を七回、すなわち七年を七度数えなさい。七を七倍した年は四
十九年である。その年の第七の月の十日の贖罪日に、雄羊の角笛を鳴り響かせる。

あなたたちは国中に角笛を吹き鳴らして、この五十年目の年を聖別し、全住民に解放の宣言をする。それが、ヨベルの年である。あなたたちはおのその先祖伝来の所有地に帰り、家族のもとに帰る。五十年目はあなたたちのヨベルの年である。種蒔くことも、休閒中の畑に生じた穀物を収穫することも、手入れせずにおいたぶどう畑の実を集めることもしてはならない。

この年は聖なるヨベルの年だからである。あなたたちは野に生じたものを食物とする。あなたたちは私の掟を行い、私の法を忠実に守りなさい。そうすれば、この国で平穩に暮らすことができる。

先唱 神に感謝。

答唱詩編（詩編 146） 独唱 曲 19「いのちある すべてのものは」①②

♩ = 69 くらい

答唱 いのちあ-る すべてのもの- はかみ-を た たえよ たえよ

1. 心を尽くして神を たたえ よ いのちのある限り 神を たたえ よ
2. ヤコブの神を たすけとし 神に希望をかける人は しあわ せ

1. わたしは生涯 神を ほめうた-う 神はとこしえに 治められる
2. 神は天と地を つく-り 海とそこにあるすべてのものを 形造られた

第2朗読（1ペトロ 2・3-6）

使徒ペトロの手紙

あなたがたは、主が恵み深い方だということを味わいました。この主のもとに來なさい。主は、人々からは見捨てられたのですが、神にとっては選ばれた、尊い、生きた石なのです。あなたがた自身も生きた石として用いられ、靈的な家に造り上げられるようにしなさい。

そして聖なる祭司となって神に喜ばれる靈的ないけにえを、イエス・キリストを通して献げなさい。聖書にこう書いてあるからです。

「見よ、私は、選ばれた尊いかなめ石を、シオンに置く。これを信じる者は、決して失望することはない。」

先唱 神に感謝。

アレルヤ唱 独唱 〔典〕270 年間第 25 主日 B

独唱 アレルヤ、アレルヤ。福音によって神は私たちを召し出し、主イエス・キリストの栄光にあずかる者としてくださった。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読（ヨハネ 2・1－11）

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

司祭 ヨハネによる福音。

会衆 主に栄光。

そのとき、ガリラヤのカナで婚礼があって、イエスの母がそこにいた。イエスも、その弟子たちも婚礼に招かれた。ぶどう酒が足りなくなったので、母がイエスに、「ぶどう酒がなくなりました」と言った。イエスは母に言われた。「婦人よ、私とどんなかわりがあるのです。私の時はまだ来ていません。」しかし、母は召し使いたちに、「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」と言った。そこには、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが六つ置いてあった。いずれも二ないし三メートルテス入りのものである。イエスが、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言われると、召し使いたちは、かめの縁まで水を満たした。イエスは、「さあ、それをくんで宴会の世話役のところへ持って行きなさい」と言われた。召し使いたちは運んで行った。世話役はぶどう酒に変わった水の味見をした。このぶどう酒がどこから来たのか、水をくんだ召し使いたちは知っていたが、世話役は知らなかった。花婿を呼んで、言った。「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、酔いがまわったところに劣ったものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取って置かれました。」イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行って、その栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。

先唱 キリストに賛美。

説教

使徒信条

司教 天地の創造主、

先唱 全能の父である神を信じます。父のひとり子、私たちの主イエス・キリストを信じます。主は聖霊によって宿り、おとめマリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられて死に、葬られ、陰府に下り、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父である神の右の座に着き、生者と死者を裁くために来られます。聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン。

共同祈願

司教 私たちは教会の生きた石です。イエスの愛を信頼して祈りましょう。

先唱 復活された主イエスの霊に強められて、教会がそれぞれの使命を果たし、主が望まれる共同体、家庭、職場を築いて行くことができますように。

会衆 アーメン。

先唱 愛の掟を残されたキリストに従い、教会が無関心や独立独行などの誘惑に負けることなく、心に抱く信仰と希望と愛の福音を生き、言葉と行いによってその光を証していくことができますように。

会衆 アーメン。

先唱 このメルセスの森に神様が司教を通して派遣し続けてくださる司祭の方々の司牧と宣教のお陰で、50年前に蒔かれた小さな「からし種」は「空の鳥が来て、巣をかける」ほどになりました。これからも聖霊の導きによって、神の愛が私たちの心に注がれ、希望を持って歩み続けますように。

会衆 アーメン。

先唱 全能永遠の神よ、感染症の世界的流行によって苦しむあなたのすべての子らを顧みてください。あなたの恵みによって、病気の人の苦しみが和らげられ、患者の世話をする人が力づけられ、亡くなった人に永遠の安息が与えられますように。

会衆 アーメン。

先唱 政治的危機の中にあるミャンマー、教会と社会のために祈ります。ヤンゴン教区のボ枢機卿は「平和こそ唯一の道、民主主義はその道の唯一の光」と述べました。今、ミャンマーを覆っている暗闇と分裂が、正義と対話によって打ち払われますように。

会衆 アーメン。

司教 いつくしみ深い神よ、あなたの民の心からの祈りを聞き入れてください。日々出会う人々の心に福音の喜びを伝えていくことができますように。私たちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

感謝の典礼

奉納（献香）

奉納祈願

司教 みなさん、このささげものを、全能の神である父が受け入れてくださるよう
に祈りましょう。

聖なる父よ、高幡教会創立50周年、また私たちの保護者であるさつきの
后(きさき)聖マリアを記念してこの供えものをささげます。十字架の上で、
ご自分をいけにえとしてささげられたキリストに結ばれて復活の喜びにあ
ずかることができますように。私たちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

司教 主は皆さんとともに。

先唱 また司祭とともに。

司教 心をこめて神を仰ぎ、

先唱 賛美と感謝をささげましょう。

奉献分一叙唱 (聖母マリア——二「マリアの賛歌に合わせて」)

司教 全能の神、すべての聖人の喜びである父よ、教会の創立50周年と保護聖人
の記念日を祝い、マリアの賛歌に合わせて、私たちもあなたのいつくしみを
ほめたたえます。あなたの偉大なわざは地の果てにまで及び、あわれみは
代々限りなく注がれます。あなたはへりくだる者を顧み、おとめマリアを通
して、御子イエス・キリストを救い主としてお与えになりました。天使の群
れは救いのわざをたたえて喜び歌い、私たちもともに賛美の歌を歌います。

先唱 聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。主の栄光は天地
に満つ。天のいと高き所にホザンナ。ほむべきかな、主の名によりて来た
るもの。天のいと高き所にホザンナ。

第二奉献文

交わりの儀

主の祈り 独唱 〔典〕240頁「主の祈り」

司教 主の教えを守り、みことばに従い、つつしんで主の祈りを捧げましょう。

独唱 天におられる私たちの父よ、み名が聖とされますように。み国が来ますよう
に。みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。私たちの日ご
との糧を今日もお与えください。私たちの罪をおゆるしください。私たちも
人をゆるします。私たちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

司教 いつくしみ深い父よ、すべての悪から私たちを救い、現代に平和をお与え
ください。あなたのあわれみに支えられ、罪から解放されて、すべての困
難に打ち勝つことができますように。私たちの希望、救い主イエス・キリ
ストが来られるのを待ち望んでいます。

先唱 国と力と栄光は、限りなくあなたのもの。

司教 主イエス・キリスト、あなたは使徒に仰せになりました。「私は平和をあなたがたに残し、私の平和をあなたがたに与える。」私たちの罪ではなく教会の信仰を顧み、おことばの通り教会に平和と一致をお与えください。

会衆 アーメン。

司教 主の平和がいつも皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

司教 互いに平和の挨拶をかわしましょう。

※一同は合掌して「主の平和」と唱えず相互に一礼する（接触なし）

司祭 神の子羊、

先唱 世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。 (2回)

司祭 神の子羊、

先唱 世の罪を除きたもう主よ、われらに平安を与えたまえ。

司教 神の小羊の食卓に招かれた者は幸い。

先唱 主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、あなたをおいてだれのところに行きましょう。

聖体拝領

拝領の歌 独唱 〔典〕37「神のいつくしみを」①②



答唱 かみ の い つくしみを と こしえにうたい 主 のまことを 代々につげよう

37



1. 神よ あなたのいつくしみを とこしえに 歌い あなたのまことを代々に 告げよう
2. 神よ 大空は あなたの不思議なわざをたたえ 天のつどいは あなたのまことを 賛美する



1. そのいつくしみは変わるこ なく そのまことは天に 基づく
2. あなたは天のつどいで あがめられ すべての者の中で おそれ 敬われる

拝領の歌 独唱 〔典〕391「ごらんよ空の鳥」①②

mp 1. ご ら んよ そらの とり 野 の し ら ゆ り を ま き
2. ご ら んよ そらの くも か が や く に じ を 地 に

も せ ず つ む ぎ も せ ず に や す ら か に い き る こ ん
め ぐ み の あ め を ふ ら せ あ ざ や か に は え る ど ん

な に - ち い さ い い の ち に で さ い こ こ
な に - く る し な や み の 日 に も き ぼ

ろ を か け る ち ち が い る
う を そ そ ぐ ち ち が い る

con moto *mf* と も よ - と も よ き ょ う も た た え て う た お う す べ て
と も よ と も よ き ょ う も う た お う す べ て

の も の に し み と お る て ん
cresc. の も の に し み - と お る

の ち ち の い つ く し み を
mp *rit.* て ん の ち ち の い つ く し み い つ く し み を

拝領祈願

司教 祈りましょう。

いのちの源である神よ、秘跡の恵みで私たちを強めてください。聖マリアの取り次ぎを願い、御子イエスがまことの神であることを信じる私たちが、主の復活の力によって、永遠の喜びに導かれますように。私たちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

ご招待者の紹介

感謝のことば

お知らせ

閉 祭

派遣の祝福

司教 主は皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

司教 全能の神、父と子と聖霊の祝福が皆さんの上にありますように。

会衆 アーメン。

司教 創立50周年記念と保護聖人の記念のミサを終わります。行きましょう、
主の平和のうちに。

会衆 神に感謝。

閉祭の歌 独唱 ㊦351「さつきのきさきを」①②

(行列なし)

♩ = 88



1. さ つ き の き さ き を あ め つ ち う た う
2. マ リ ア の み ま え に ち ぐ さ み だ れ て

ひ と と せー めー ぐ り て ゆー り さ く き せ つ
い ろ と りー どー り に そ おー り な す に し き

マ リ ア しゅ く し ま せ しゅ く せ ら れ ま せ
み か ざ り に せ よ と ち は さ き い で ぬ

退 堂

「さつきの^{きさき} 后^{せい} 聖^{いの}マリアへの祈り」
(カトリック高幡教会の守護聖人)

さつきの^{きさき} 后^{せい} 聖マリアよ。

純^{じゅんぱく} 白^{ゆり} の百合、真^{しんく} 紅^{はなぞの} のバラ、わたしたちの花園である方、聖^{かた} 霊^{せい} の光^{ひかり} で
日々^{ひび} の暮^く らしを照^て らしてください。神^{かみ} があ^あ なたによ^あ ってお与^あ えく^{すく} ださ^{すく} った救^{すく}
い主^{ぬし}、御^{おん} ひとり子^ご イエス・キリストで わたしたちの魂^{たましい} を満^み たしてくださ
い。あ^あ なたのよ^{かみ} うに 神^{かみ} のしもべとなることができるよう 新^{あた} し^{こころ} い 心^{あた} をお与^あ
えく^{すく} ださい。この世^よ に 慈^{いつく} し^い みと ま^{せいぎ} こと、正^{せい} 義^ぎ と平^{へい} 和^わ を、わたしたちが もた
らすことができるよう 父^{ちち} である 神^{かみ} にお祈^{いの} りください。アーメン。

感謝の言葉

新型コロナウイルス感染症のために延期していましたカトリック高幡教会の創立 50 周年記念ミサは、様々な制約の中でも菊地大司教様や歴代の神父様方、高幡教会とゆかりのあるお客様をお迎えしてお捧げすることが出来ました。

感染症のリスクを抱えながら、お集まり下さり心より感謝いたします。

本日のミサの為に、準備に携わった皆様、制限付きミサにご理解ご協力をいただいた信者の皆様、心より感謝いたします。

感染症は、未だ終息しておらず、制限を強いられています。しかし今日は、ミサに与れなかった方々も共に心をつにして「賛美」し「喜び」合い、50 年間の存在を感謝した一日になりました。

困難な状況の中で捧げられたミサは、日々感染症と向き合う事が当たり前の日常を過ごす私たちと、教会に來られない信者にとっても、これからの新たな 1 年 1 年に共同体の希望の光となるでしょう。

心より感謝いたします。ありがとうございました。

カトリック高幡教会
司祭ベロッティ・ジャンルーカ
信者一同